

# INFORMATION [期間：平成22年－23年]

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード: 作成者: 金沢大学十全医学会 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/27832">http://hdl.handle.net/2297/27832</a>

## INFORMATION

【期間：平成22年～23年】

北陸がんプロフェッショナル養成プログラム  
 がん患者さんの声からつくる支援のかたち  
 ～イギリスのマギーセンターから学ぶ 環境・空間・ひと～

目的：本講演会は、がんと共に生きる人々が自分らしく生き抜くことを支えるための支援のあり方をがん患者の声から学びつくりあげるためのかたちを整えていく第一歩としたい企画である。真に患者さんの求める支援のあり方について、日本の医療が直面している課題を明らかにし、イギリスのがん患者支援センターのマギーセンターから「がん患者さん自らの力を信じ、自分自身を取り戻すことができる支援」を学ぶことより、今後も継続的に、がん患者、大学、行政、企業、一般市民の協力のもとで「がん患者さんの声からつくる支援のかたち(体制)」を整えていくために本講演会を第一歩とする。

日時：2010年2月20日(土) 13:00～17:00

会場：北國新聞赤羽ホール 交流ホール

対象者：がん患者、一般市民、行政関係者、企業関係者、大学関係者、医療保健福祉従事者

主催：北陸がんプロフェッショナル養成プログラム

共催：石川県在宅緩和ケア支援センター

お問合せ先：北陸がんプロフェッショナル養成プログラム事務局

〒920-8640 金沢市宝町13番1号 金沢大学大学院医学系研究科内

TEL (076) 234-4205、(076) 265-2854 FAX (076) 265-2855

E-mail: sanari@med.kanazawa-u.ac.jp

にこにこ長寿をめざす健康エクスサイズ  
 市民公開講座(第20回日本老年医学会北陸地方会共催)

平成22年3月14日(日) 午後2時～4時

会場：近江町交流プラザ 4F 集会室

金沢市青草町88番地

内容：講演と運動指導

・講演

・身体・脳の健康増進のための運動：藤原勝夫先生(金沢大学 教授)

・関節の痛みを防ぐ話と運動実技：片田圭一(石川県立中央病院リハビリテーション部、石川県理学療法士会会長)

・運動を続けるコツ：山崎松美(金沢医科大学看護学部 看護師)

事務局：野村英樹、西崎早苗(事務)

〒920-8641 石川県金沢市宝町13-1 金沢大学附属病院

E-mail: soshin@med.kanazawa-u.ac.jp

International Conference on Social Brain: Autism and Neuroethics (Kanazawa University 150th Anniversary lecture and symposium Series 7) United Graduate School of Child Development Kick off Symposium

この度、国際シンポジウム (International Conference on Social Brain: Autism and Neuroethics Kanazawa University 150th Anniversary lecture and symposium Series 7 United Graduate School of Child Development Kick off Symposium) を平成22年3月24日、25日の2日間、金沢大学十全講堂を会場として開催する予定で、現在鋭意準備を進めているところです。

国際シンポジウムは「若い研究者・院生等への海外の研究者との積極的交流をはかる機会をもうける」という大きな目的をもっています。今回は、21世紀COEプログラム革新脳科学が自閉症の理解と克服に一定の成果をあげたことに関連し、自閉症研究の遺伝子行動、用語等の分野の第一線の研究者を招聘しています。

主催：大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所 金沢校、

金沢大学子どものこころの発達研究センター (問い合わせ先：076-265-2458)

### 第81回日本糖尿病学会中部地方会

会 期：平成22年4月17日(土) 11時30分～17時00分(予定)

会 場：金沢大学医学類講義棟

会 長：金沢大学 内分泌・代謝内科 武田仁勇 科長

プログラム：

1. ランチョンセミナー「インクレチンとその関連薬の基礎と臨床」(仮題) 清野 裕 先生(関西電力病院 院長)
  2. ミーツ・ザ・スペシャリスト1「劇症1型糖尿病：最新の話」 今川彰久 先生(大阪大学大学院 内分泌・代謝内科学 講師)
  3. ミーツ・ザ・スペシャリスト2「糖尿病療養指導ポイントレッスン」 稲垣美智子 先生(金沢大学医薬保健研究域保健学系看護科学領域教授)
- ランチョンセミナーはインクレチンの第一人者である清野裕先生にお願いをしております。歴史的経緯、現在の治療の特徴、今後の展望といった興味深いお話が期待されます。

また今回は特にミーツ・ザ・スペシャリストのコーナーを設け今川彰久先生、稲垣美智子先生をお招きしました。先生方にはミニレビューと引き続いての一般演題における討論をお願いしております。

多数の方々の御参加をお願い申し上げます。

### がん研セミナー 特別講演

国際がん研究機関 (WHO) の分子病理部門主任の大垣比呂子先生をお招きして、脳腫瘍分子病理学の最新トピックについて、特別講演を開催。

演題：Genetics of High-grade and Low-grade Gliomas

演者：大垣 比呂子 博士

Molecular Pathology Group Head International Agency for Research on Cancer (WHO), Lyon, FRANCE

日時：2010年5月25日(火) 18:00～19:00

場所：金沢大学がん研究所(角間キャンパス内) 4階多目的室(会議室)

### 17th Czech-Japan Surgical Symposium

本シンポジウムは、日本とチェコの外科医が、手術方針、外科技術、術後管理など相互に教授及び、意見を交換することにより、技術の進歩や西洋と東洋の外科学の相違について学び、広く社会福祉に貢献することを目的としております。今回、金沢に於いて開催されました第17回シンポジウムには、日本・チェコの外科医師を中心に、約60人が参加し、最近の知見をもとにした数々の優れた発表と活発な討議が行われ、おかげ様で盛会のうちに無事全日程を終了することができました。多数のご参加をいただきまして誠にありがとうございました。皆さまに心よりお礼申し上げます。

開催日：平成22年6月5日～7日

場 所：金沢文化ホール、ホテル日航金沢

問い合わせ先：金沢大学大学院医学系研究科がん局所制御学 TEL 076-265-2362 FAX 076-234-4260

### 北陸実験動物研究会第14回総会・第37回研究会

開 催 日：平成22年6月5日 総会13：15～ 講演14：00～16：30

開催場所：金沢大学がん研究所新棟4階会議室

連 絡 先：金沢大学学際科学センター・遺伝子改変動物分野

lara-info@kiea.m.kanazawa-u.ac.jp TEL 076-265-2460 (浅野)

本会は、北陸3県の実験動物研究者、技術者、実験動物取り扱い企業の情報交換の場として活動している。本年は、金沢大学がん研究所の角間キャンパス移転に合わせ、同研究所内に学際科学実験センター実験動物研究施設角間分室が開設されたことから、がん研究所で活躍されている若手研究者を招いて、「マウスモデルを用いたがん研究の新展開」と題した講演会を企画した。講演では、「マウスモデルを用いた消化管上皮腫瘍細胞の増殖におけるマクロファージおよび炎症性サイトカインの役割の研究」と題して腫瘍遺伝学研究分野の大島浩子先生に、「マウスモデル研究で明らかになってきた多様なCOX-2の機能」と題して遺伝子・染色体構築研究分野の仲 一仁先生に、マウスを用いた最近の研究成果を紹介していただいた。角間分室は角間キャンパスにおける初の大規模SPFマウス施設であり、角間キャンパスにおける生命科学のさらなる発展が期待されている。

### 金沢大学公衆衛生学研究会

金沢大学公衆衛生学研究会は、7、8、1月を除く原則毎月第二木曜日の夜に講演形式で開催しています。毎回、疫学・統計解析、アレルギー・内分泌代謝研究、社会医学的研究などの領域から幅広く講師を募っています。学内外問わず、どなたでも参加できます。入場は無料で、事前の申込は必要ありません。部分聴講も可能です。

開催場所：医学類F棟1階 修士課程セミナー室

問い合わせ連絡先：医薬保健研究域医学系 環境生態医学・公衆衛生学教室

TEL：076-265-2218, hibino@pub.m.kanazawa-u.ac.jp

ホームページ <http://web.kanazawa-u.ac.jp/~med14/index.htm>

17:30～18:00 「実用統計学」 中村裕之（医薬保健研究域医学系教授）

18:00～19:00 「原始生物ラン藻由来物質の材料化～金属吸着剤から創薬まで～」

岡島麻衣子先生（北陸先端科学技術大学院大学研究員）

19:00～20:00 「多胎育児支援とピアサポート」 志村 恵先生（人間社会研究域教授）

### 第19回日本がん転移学会学術集会・総会

会長 佐藤 博（金沢大学 がん研究所）

第19回日本がん転移学会学術集会・総会を来る平成22年6月16日（水）・17日（木）に金沢市文化ホールにて開催させていただくことになりました。本学会は、基礎・臨床・企業の研究者が一堂に会し、各々の視点から自由に意見を交換できるユニークな場として発展してきました。転移研究とは、転移を悪性化形質の中心として捉え、悪性化機構およびそれに関わる分子を解明することにより難治がんの克服を目指すものと考えています。今回の学術集会では、このような転移研究のキーワードとして「がん幹細胞」と「分子標的」を取り上げ、シンポジウムにおいて重点的に議論します。国際交流の場としては、海外から若手研究者を招聘し、国内の若手研究者との交流を促進する国際交流セミナーを企画します。本セミナーには、2012年にオーストラリアで国際MRS（Metastasis Research Society）ミーティングを開催する予定のMRS副会長E.W. Thompson博士（メルボルン大学）も参加の予定で、この機会に本学会と国際MRSとの連携をより強化したいと思います。

### Basic Disaster Life Support (BDLS) 金沢プロバイダーコース開催

このたび、アメリカ合衆国（USA）における災害医学教育プログラムであるBasic Disaster Life Support (BDLS) プロバイダーコースを金沢で開催します。BDLSはBLS、BTLSと同様USAにおける災害の標準医学教育プログラムであり、アメリカ医師会（AMA）が運営するコースです。BDLSは2001年より開催され、現在まででのべ10万人以上が受講しております。講義、スライドは全て日本語で行ない、内容はUSAそのままで開催します。

日 時：6月19日（土）8：00～19：00

場 所：金沢大学医学部

対象者：救急隊、看護師、医師等の医療従事者 150名程度

参加費：12,000円（テキスト代、登録料含む）

講義内容：8時間の講義、筆記試験（全て日本語です。）なお、受講修了後日、AMAより受講修了書が発行されます。

なお不明な点がございましたら、金沢大学附属病院 集中治療部 谷口 巧

E-mail: ttaniyan@med.kanazawa-u.ac.jp

TEL: 076-265-2826もしくは076-265-2000（内線3423）まで

### 北陸がんプロフェッショナル養成プログラム—いのちと食と排泄の集い— 「生きるセンス 食べるセンス 出すセンス」

開催日：2010年6月26日（土）10：00～17：00

場 所：近江町交流プラザ（参加費無料：講演会のみ事前申込み必要）

講演会：座長：龍澤泰彦（石川県在宅緩和ケア支援センター センター長）

10：00～11：00 講演「いのちとの対話」 講師：アルフォンス・デーケン氏（上智大学 名誉教授）

11：10～12：10 講演「気持ちのいい排泄」 講師：浜田きよ子氏（高齢生活研究所・排泄用具の情報館むつき庵代表）

13：00～15：00 講演「食といのち」、いのちのスープの実演 講師：辰巳芳子氏（料理研究家・随筆家）

★いのちと食と排泄の各種展示コーナー

○ここからからだの相談コーナー（がんに関すること、栄養、摂食嚥下、口腔ケア、排尿・排便、在宅療養）

○いのちのスープの試食 ○母と子の食育 ○ミニむつき庵（介護空間と排泄用品） 他 11展示

★お問い合わせ 北陸がんプロフェッショナル養成プログラム事務局

金沢市宝町13-1 金沢大学医薬保健研究域医学系内 ホームページ：<http://www.gan-pro.com>

TEL：076-265-2854 FAX：076-265-2588 Mail：gpro@med.kanazawa-u.ac.jp

### 第31回 公衆衛生学研究会

金沢大学公衆衛生学研究会は、7-8、1月を除く原則毎月第二木曜日の夜に講演形式で開催しています。毎回、疫学・統計解析、アレルギー・内分泌代謝研究、社会医学的研究などの領域から幅広く講師を募っています。学内外問わず、どなたでも参加できます。入場は無料で、事前の申込は必要ありません。部分聴講も可能です。

開催場所：医学類F棟1階 修士課程セミナー室

問い合わせ連絡先：医薬保健研究域医学系 環境生態医学・公衆衛生学教室

TEL：076-265-2218, hibino@pub.m.kanazawa-u.ac.jp

ホームページ <http://web.kanazawa-u.ac.jp/~med14/index.htm>

- ◇5:30PM-6:00PM 中村裕之先生（環境生態医学・公衆衛生学 教授） 「やってはいけない統計学1」
- ◇6:00PM-7:00PM 中村浩二先生（金沢大学 環日本海域環境研究センター 教授） 「石川県の里山里海：現状と問題点、未来可能性」
- ◇7:00PM-8:00PM 広瀬幸雄先生（金沢大学大学院特任教授・金沢大学名誉教授） 「コーヒーを美味しく飲もう」

### 第18回 Neuroscience Seminar

日時：平成22年7月27日（火） 17:00~18:00

場所：医学類F棟1階 修士課程セミナー室

演者：Michael D. Geschwind, MD, PhD

Associate Professor Department of Neurology

University of California, San Francisco

タイトル：“The evaluation of a patient with a rapidly progressive dementias (RPD)”

### 第28回日本小児心身医学会学術集会

会期：平成22年9月10日（金）~12日（日）

会場：石川県文教会館（金沢市）

会長：関 秀俊（国立病院機構 医王病院）

メインテーマ：子どもの心を育みレジリエンスを高める心身医療をめざして

会長講演：小児心身医学におけるレジリエンス

特別講演：自閉症の原因遺伝子と治療：オキシトシンをめぐって 東田 陽博（金沢大学子どものこころの発達研究センター）

教育講演1：子どものうつ病の特徴と治療 原田 謙（信州大学医学部子どものこころ診療部）

教育講演2：小児精神医学からみた日本の子どもの自尊感情 古庄 純一（青山学院大学教育人間科学部）

シンポジウム：摂食障害の予防・早期介入と患者教育の実践

公開研修会：共感に基づくコミュニケーション 一心から人と真剣に向き合うことの大切さー

（コミュニケーション力を高める「気づきの体験学習」にトライ!）高塚 人志（鳥取大学医学部）

### 第58回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会総会・学術講演会

会期：平成22年9月18~19日（土・日）

会長：井上正樹（金沢大学医学系研究科産科婦人科教授）

事務局：〒920-8641 石川県金沢市宝町13-1 金沢大学医学部産科婦人科学教室内

第58回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会総会・学術講演会事務局

学術講演会実行委員長：高倉 正博

TEL：(076) 265-2425 FAX：(076) 234-4266

内容：招請講演、特別講演、ランチョンセミナー、一般演題

### 第19回日本乳癌画像研究会セミナー

本会は、乳癌画像に関する研究についての発表、知識の交換、情報の提供等を行うことにより、乳癌に関する医学、医療およびその関連学問領域の進歩普及をはかり、もって我が国における学術の発展に寄与することを目的とし、第19回セミナーには、乳癌専門の医師やコ・メディカルを中心に、約240人が参加し、最近の知見をもとにした研究成果が発表され、活発な討議がなされるものと予想されます。

開催日：平成22年9月25日

場所：ホテル金沢

問い合わせ先：金沢大学大学院医学系研究科がん局所制御学 TEL 076-265-2362 FAX 076-234-4260

### 第19回Neuroscience Seminar 「神経変性疾患におけるVCP蛋白質の役割」

京都大学大学院 生命科学研究科・高次生体統御学分野 垣塚 彰教授

平成22年9月29日(水) 18:30~19:30 金沢大学医学部F棟1階多目的室6

このたび、京都大学大学院生命科学研究科・高次生体統御学分野教授の垣塚 彰先生をお招きしてセミナーを開催致します。

垣塚先生は、神経科学の分野では遺伝性脊髄小脳変性症の原因遺伝子を発見され、ポリグルタミン病の概念を提唱された方としてご高名ですが、最近抗肥満・抗糖尿病作用をもつERRL1遺伝子の同定など、多方面で業績をあげられています。

今回、学部学生の特別講義のために金沢にお越しいただく機会に御講演をお願いいたしました。大変興味深いお話を拝聴できるものと思います。どうぞお気軽に御参加ください。

### 日本健康行動科学会第9回学術大会

日本健康行動科学会第9回学術大会を、平成22年10月9日・10日(8時30分~17時)に開催いたします。

会場は、金沢大学医学部十全講堂です。

日本は世界一の長寿国であり、豊かで健やかな生活を送るためにも健康科学が益々重要視されてきております。本学術大会において健康科学に関する論議を深めていただけることを願っております。

本学術大会では、「姿勢」と「腰痛」：「生き生き100歳ゴール」への指南術 と題する公開特別講演(演者：富田勝郎 金沢大学附属病院病院長)を開催します。また、シンポジウムとして、若手研究者による「脳活動を測る」を企画しました。加えて、公募によるミニ・シンポジウムを設けました。一般演題では、発表時間と討論の時間を十分に設けるように配慮し、全てを口頭発表とポスター発表の両方とする予定です。昼食時には、「ランチョン測定器デモンストレーション」を予定しています。詳細は、ホームページ(<http://hbs-9th.w3.kanazawa-u.ac.jp/>)にてご案内いたしております。

参加者の皆様の協力によって充実した研究発表の場にできるような運営を行いたいと思います。多くの方の参加をお待ちしております。

### 第15回日本生殖内分泌学会学術集会

会 長：並木幹夫(金沢大学大学院医学系研究科集学的治療学 教授)

期 間：平成22年11月20日(土)~21日(日)

場 所：千里阪急ホテル/千里ライフサイエンスセンター(大阪)

本学会は、小児科、泌尿器科、生理学、動物学、比較生物学、獣医学、産科婦人科学と多分野の研究者の集合であり、その特性を生かして、相互の意見交換を通じて、生殖内分泌を共通のテーマにこの分野を活性化することを目標にしております。生殖機能コントロールの観点から、中枢と末梢の相互作用、局所ではホルモンと受容体の結合と細胞内情報伝達様式など、生殖に関わるホルモンや生理活性物質の臓器間又細胞間の情報伝達に関わる様式やそのメカニズムは未だ解明されるべき点が多くあります。配偶子形成における減数分裂、卵と精子による受精は、生殖過程における細胞分裂と細胞融合の様式であり、これらのメカニズムを解明する過程は、最近脚光を浴びている再生医療と生殖医学を近づけることになると思います。生殖内分泌学が魅力ある研究分野であることを多くの学生に知ってもらい、学会に参加していただきたいと思っております。

### がん患者の皆さん、薬剤師をもっと活用しよう！

日 時：平成22年11月28日 午後1時~4時

場 所：近江町交流プラザ

一般市民やがん患者、ご家族を対象とした市民参加の公開講座。北陸がんプロフェッショナル養成プログラムを主催として、石川県病院薬剤師会が中心となって企画、運営する。病院薬剤による基調講演に次いで、医師、薬剤師、看護師、患者の立場から薬物療法における薬剤師への期待を語っていただいた後、参加者全員による討論会を行い、がんの薬物療法の理解を深めてもらい、治療のそばには薬剤師がいること知り、大いに利用する様にアピールする。

### 神経情報学セミナー

テーマ：「T型カルシウム・チャネルの視覚野可塑性に果たす役割」

講演者：小松由紀夫 教授（名古屋大学 環境医学研究所）

開催日時：2010年11月29日（月）午後5時30分から

場所：G棟2階 第3講義室

講演内容：大脳皮質視覚野細胞は、視覚対象の傾きやその動きの方向などに対して選択的に反応し、その特徴を抽出する。この方位や方向に対する反応選択性は感受性期と呼ばれる生後発達の一時期の視覚体験に基づいて成熟する。感受性期に片眼を数日以上の間遮蔽すると、視覚野細胞の遮蔽眼刺激に対する反応は減弱し、非遮蔽眼刺激に対する反応は増強する。この眼優位可塑性は非常に顕著な現象であり、視覚野可塑性のメカニズムの解析に使われてきた。シナプス可塑性は視覚反応の可塑的変化の基盤をなす過程であり、遮蔽眼反応の減弱には長期抑圧の、非遮蔽眼反応の増強には長期増強の寄与が示唆されている。この増強に関してT型Caチャネルの関与を見つけ、この阻害剤やこのチャネルのノックアウトマウスで増強（T-LTP）の低下が見られたことより明らかになった。

### 第27回日本臨床細胞学会 石川県支部学術集会

日時：平成23年1月30日（日）11時～17時

場所：金沢大学医学部教育棟第一講義室

セッション：一般演題 5題

スライドセミナー 3題

教育講演 「新しい腎盂・尿管・膀胱癌取り扱い規約と尿細胞診」

埼玉医科大学・国際医療センター 病理診断科 村田晋一 教授

世話人：金沢大学大学院医学系研究科分子細胞病理学 鈴木潮人

### 金沢大学政策課題対応推進シンポジウム 「食」による生活習慣病予防医学の展開シンポジウム

開催日：平成23年2月3日（木）場所：KKRホテル金沢 鳳凰の間

時間：午前9時10分から午後6時25分まで

主催：金沢大学「食」による生活習慣病予防医学の展開 研究グループ，フロンティアサイエンス機構

共催：（独）農業食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター，イノベーション創出基盤的研究推進事業

学内外から計11題の基調講演と2題の特別講演で構成されるシンポジウム。東北大学大学院農学研究科宮澤陽夫教授による「レドックス感受性脂質からみた食品抗酸化物質の機能」と東京大学農学研究科 阿部啓子教授による「食と健康」の基礎農学と産業科学—回顧と展望」が特別講演となる。

連絡先：「食」による生活習慣病予防医学の展開研究グループ

（代表：井上啓 金沢大学フロンティアサイエンス機構、メンバー：尾崎紀之、山本靖彦、太田嗣人、檜井栄一）

### 生化学特別セミナー

タイトル：Phosphorylation of The NFAR Proteins Constitutes A Novel Mechanism of Translational Regulation and Cellular Defence

米国マイアミ大学医学部の原島 愛博士をお招きして、ウイルス感染とそれに対する宿主防御機構の最新のトピックについての特別講演会を開催。

演題：Phosphorylation of The NFAR Proteins Constitutes A Novel Mechanism of Translational Regulation and Cellular Defence

演者：原島 愛博士 Postdoctoral fellow (Glen N. Barber Lab), Department of Medicine and Sylvester Comprehensive Cancer Center, University of Miami School of Medicine, Miami, FL, USA.

日時：2011年2月4日（金）午後1時半～2時半

場所：F棟1階修士課程セミナー室